



# 5月の園だより

社会福祉法人 であいの里 さやま保育園  
2026年5月1日発行

## 今月の行事予定

- 12・26日 礼拝(4・5歳児) 11日 避難訓練
- 発育測定(13日/どう・きりん、14日/うさぎ・
- いす、15日/あひる・ひよこ) 14日 内科検診
- 15日 <sup>ごうたんえ</sup>降誕会お寺参り(ほし) 20日 クッキー作り
- 21日 誕生会 26日 口座引落(4・5月分)
- 25日 さつまいもつるさし (どう・きりん)
- 29日 えんぞく参観日(どうきりん親子)延長なし

### \*\* 保育目標 讃嘆 一たたえます一

- ・ 降誕会には、みほとけさまにお参りし、ほとけさまのお話を聴く。
- ・ 春の自然にふれて、友だちや保育士と関わりながら、遊びを楽しむ。



### 【法話】 <sup>ごうたんえ</sup>降誕会

新年度が始まり、ひと月。肌寒さの残る朝晩もありましたが、ようやく昼間は、汗ばむ季節となりました。

浄土真宗の宗祖親鸞聖人は、承安3年(1173年)5月21日、京都の東南、日野の里で生まれられ、

幼くして両親と別れ、9歳で出家得度し、それから20年間、比叡山で血のにじむ修行をされました。し

かし29歳の時、山を捨て法然上人の門に入られま

した。自力の世界から他力(仏力)の世界への転入です。いつも闇の中で生きている者は、それが闇であることがわかりません。闇が闇と気付かされ、闇が破られていくのは、光のはたらきです。私の心の闇を晴らしてくれるその光は、他力(仏力)・お念仏の教えであると教え示して下さいました。

親鸞さまのお誕生日、5月21日を「<sup>ごうたんえ</sup>降誕会」といいます。保育園では毎月21日にその月の子どもたちの誕生会をしています。今年は5月に降誕会お寺まいりをします。また、火曜日に礼拝を行います。「しんらんさまについて」、「ほとけさまについて」、「わたしについて」いろいろなお話しをしますので、ご家庭でも尋ねてみてくださいね。

今年は親鸞聖人が、浄土真宗の教えを私たちに伝えて下さって、801年目になります。

合 掌

### 『手と頭で苦労することが、できた喜びに』

今年も広島島のわくわく創造アトリエの中木先生に、たくさん積み木を持って園に来ていただきました。今年3年目、卒園児たちから聞いているので、「積み木は生きている」と答える年長(ほし組)さんたちが挑戦しました。まずはみんなで大きなぞうを作りました。最初は足を4つのチームで1本ずつ、立方体10個で円を作りそれを10段積み上げました。その上に畳と同じ大きさの天板を載せますが、こんな大きな象になるのかとみんな興味深々でした。積み木の箱が大きな耳になり、箱が重なって背中やお尻ができて、積み木で丸く肉付けする子、鼻を伸ばす子、顔を作る子、図鑑を見て足の爪を創る子、、、

その後は一人ひとりが、ぞうのまわりに作りたい動物を創り動物園を完成させました。決まった形の白木の積み木で立体的な動物を作ることは、容易な事ではありません。なかなか思い通りにいきません。それでも、子どもたちは想像力を膨らませ、頭で考え、目で見、指を動かして、何度も挑戦します。「あっ出来た」という瞬間がある時、「面白い」「もっとやりたい」と目が輝きます。苦しむことが、楽しくなってきます。何度も壊しながら、絵を描くように作り続ける姿、先生にヒントをもらい喜ぶ姿、友達と相談しながら協力する姿、図鑑を見入る姿、中には上手くできなくても友達の様子をしっかりと観察する姿、2時間たっぷり積み木遊びを続けた子どもたちでした。

今年度の保育目標は、4月の園だよりでも紹介しましたが、今までのものから一歩進化させました。「やりたい、やってみよう」主体的な活動(遊び)を、子どもたちが試行錯誤しながら、困難に立ち向かって、それをやり遂げようと途中で諦めずに努力する力、それが子どもたちの成長(生きる力)となってくれる事を目標の一つとしています。積み木遊びを楽しむ中で、苦しみながらも主体的に遊び込めるよう、手と頭とフル回転させながら遊べる環境を、今後も取り入れていきたいと思っております。

